

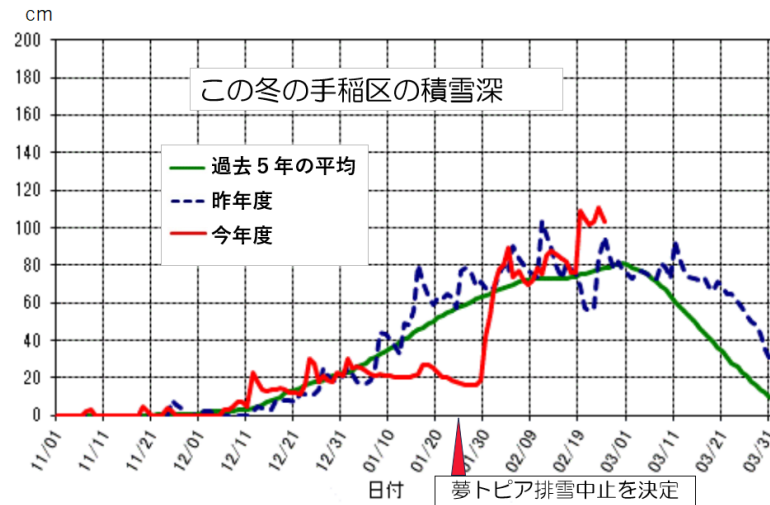


## 極端な少雪から結局平年を超える積雪に ～今後の排雪実施体制に課題も～

この冬は昨年 10 月 20 日に平年より8日早い初雪が降りました。

しかし、その後雪はあまり降らず、1月下旬の積雪は平年の3割以下で、路面のアスファルトが見えているところもある状況でした。

また気象協会では2～4月は平年より気温は高めで雪は少ないとの3か月予報を発表しました。



パートナーシップ排雪を予定していた地域では、排雪を行うかどうか大いに悩みましたが、夢トピアより日程の早い金山などの各町内会は軒並み排雪の中止を決定。

その結果夢トピアの順番が繰り上がって雪のないうちに排雪が始まる可能性もあったことから、町連は1月25日に排雪中止を決定し、28日には全町内会にお知らせしました。

しかし、皮肉にもその直後から大雪が降りはじめ、道路は雪で覆われ、2月2日にはついに積雪深が平年を超えました。

他地区で排雪を中止した町内会の中には、中止を撤回して再度排雪の申請をして、繰り下がった日程で何とか排雪復活ができたところもあった様ですが、夢トピアの様な大所帯ではそうした小まめな日程変更は困難で、今後の排雪実施のあり方に課題を残しました。

なお、例年1月に市が行う幹線道路の排雪は、今年は1月の雪が少なかったため、はまなす通りやかえで通りなどは2月に行われました。

## クリーンさっぽろ懇談会を開催 ～ごみのリサイクルやボランティア袋の使い方などを知る～

夢トピア町連環境部主催の「クリーンさっぽろ衛生推進員懇談会」が2月7日コスモプラザで開催され、夢トピア各町内会の環境部長、町連環境部役員、クリーンさっぽろ事務局の西清掃事務所の普及担当職員など合わせて19人が参加しました。

懇談会では札幌市のごみのリサイクルについてのDVD視聴の後、西清掃事務所からボランティア袋の使い方について説明があり、最後に質疑応答が行われました。

### ＜ボランティア袋について＞

ボランティア袋は、公園や道路などの公共の場所のボランティア清掃で集めた街路樹の落ち葉などのごみをステーションに出すためのものです。



ボランティア清掃で集めた草木やプラスチック類などは「燃やせるごみ」の日、びん、缶、金属類は「燃やせないごみ」の日にボランティア袋でごみステーションに出してください。

なお、自宅から出るごみにはボランティア袋は使えません。

また、ボランティア清掃で集めた「枝・葉・草」を普通の半透明の袋で「枝・葉・草」収集の日に出したり、ボランティア清掃で集めた「びん・缶・ペットボトル」を普通の半透明の袋で「びん・缶・ペットボトル」収集の日に出すこともできます。

ボランティア袋は、清掃事務所、区役所地域振興課、まちづくりセンター、土木センターで配布しています。申込書に必要事項を記入して袋を受け取ってください。



クリーンさっぽろ懇談会の会場



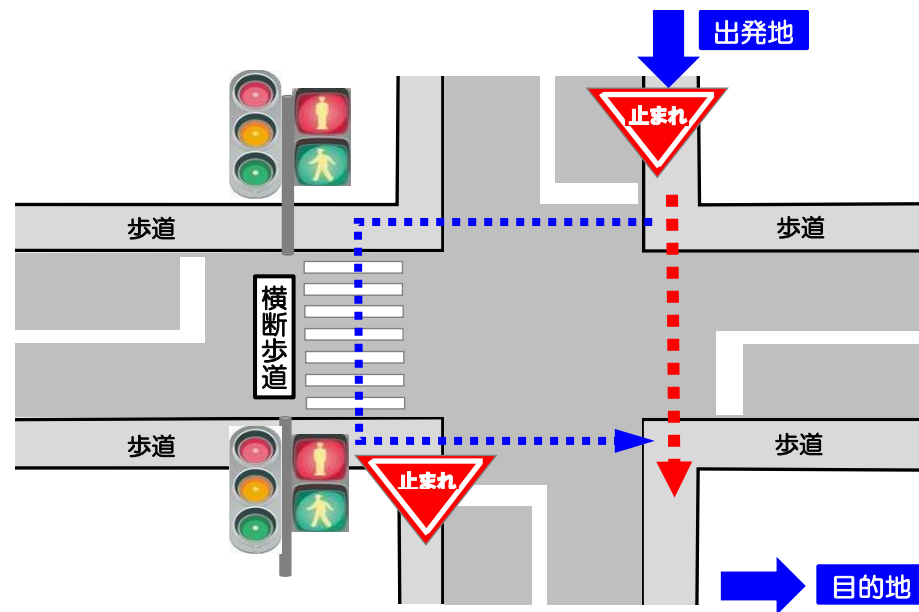
## 歩行者に適用する道路交通法 横断歩道を渡らないとイエローカード?その1

とある日、知人が歩いて道路を渡ったその時、パトカーから警察官が・・・イエローカードを渡され、名前と住所の記載が求められました。正式には「歩行者用指導警告書」と言うもので、反則金や自動車免許の点数が引かれることはありません。手稲警察署に問い合わせたところ、歩行者を事故から守るための注意喚起とのことです。

これは私の自宅近くの交差点でのお話ですが、交通量は決して多くない道路を渡るのですが出発地点から目的地へ向かうのに道路を挟んだ向かいに押しボタン式の横断歩道があります。横断歩道を渡って目的地に向かうのには、さらに2回道路を横断（下図の青点線）する必要があります。

そのため、道路を1回だけ渡ればよい下図の赤点線の経路を使う方をよく目にしています。

皆さんは下図にある交差点、どのような経路で渡りますか？



### 道路交通法第12条（横断の方法）

第1項 歩行者は、道路を横断しようとするときは、**横断歩道がある場所の付近において**は、その横断歩道によって道路を横断しなければならない。

「横断歩道がある場所の付近」？ 法的には明確な距離は定められていないようです・・・。  
そこでインターネットで調べてみると、附近とはおおむね横断歩道がある場所から”20～50m”くらいのところを指すと解説されている情報が多いようでした。これまた曖昧な表現ですが上記交差点の場合、常識的に考えて付近に横断歩道がありますので青点線の経路が正解となります！

託児所や幼稚園、小学校の近くでは子供たちが手を挙げて横断歩道を渡る様子をよく目にしますが、大人が教育の妨げにならないようにしなければいけないですね。

悲惨な事故が起きないように交通ルールを守りましょう！

次回号では夢トピア星置町内会連合会エリアにある「横断歩道が遠くてついつい渡ってしまいそうな場所」を紹介します。

## 資源回収 減少傾向続く ～令和6年の回収実績まとまる～

夢トピア町連は令和6年の集団資源回収実績をとりまとめました。

令和6年（1月から12月）の資源回収量は88,045kgで  
昨年比10%減となりました。

この結果、回収業者から支払われる回収金は440,984円  
（昨年比18%減）、市からの奨励金は348,100円（昨年  
比3%の減）となりました。



アルミ缶の回収量の減少と買い取り単価のダウンがあったため、回収金は大きく減りました。

一方、市の奨励金はkgあたりの金額のアップがあり、交付額は微減に収まりました。

資源回収は、紙類などをゴミとして燃やしたり埋め立てたりするのではなく、資源として循環させる環境にやさしい取り組みです。

更に、町内会等の地域団体が行う集団資源回収は、住民の協力と民間のリサイクルルートを活用により、市町村が行う資源物収集に比べて大幅に処理コストが減るほか、回収金や奨励金は町内会活動の資金源ともなっています。

しかし近年、回収量が最大の古紙が新聞購読者数の減少傾向などで回収量が減っていることなどから、全国的に資源回収量は減っており、夢トピアも例外ではありません。

一方で、紙類が燃やせるごみに出されていたり、アルミ缶がごみステーションに出されています。できる限り分別して集団資源回収のルートに乗せ、資源の有効活用とごみの減量を進めていきたいものです。

回収金額と奨励金	A	B	C
種類	2024年	2023年	前年比
紙類	377,260	418,220	-40,960
うち新聞	291,700	326,600	-34,900
びん類	824	700	124
アルミ缶	62,900	120,400	-57,500
回収金合計	440,984	539,320	-98,336
市の奨励金	348,100	359,300	-11,200
合計	789,084	898,620	-109,536